

目 次

□巻頭言 建設技術開発の推進	杉山好信	/ 1
□昭和 61 年度官公庁の事業概要 (2)~(6)		
運輸省港湾関係事業	津田青記	/ 3
運輸省空港整備事業	井上優	/ 6
日本国有鉄道の設備投資計画	益子利光	/ 9
日本鉄道建設公団事業	高野彬	/ 11
農業基盤整備事業	高嶺彰	/ 13
松浦火力発電所土木工事の概要	篠原江沢 深 淑征	/ 18
横浜市における卵形汚泥消化タンクの施工	安久津 山片下桐	起博晃 / 25

グラビヤ——卵形消化タンクの施工
 弧状錐進工法による施工

弧状錐進工法 (PLAD 工法) による 洞海湾横断パイプライン敷設工事	林長谷 郡 田川 紀 司 雄久盛	/ 33
□随 想 むかしげなし 終戦前後から 10 年位の建設機械の推移について	小林章二	/ 38
□随 想 国鉄再建問題と設備投資に思う	高岡博	/ 40
“宮ヶ瀬・虹の大橋” 工事報告	竹村公太郎 早 盛	/ 43
床仕上作業用自走式多機能ロボット (MTV-1) の開発	古奥谷 前中 健次郎 田川 純一郎 川 秀彦	/ 49
ユニット鉄筋の自動加工ラインの開発	伊地知 鈴 季 顕夫	/ 53

昭和 61 年度 建設機械施工技術検定の実施について	関本博	/ 59
□新工法紹介 タワークレーン総合監視システム / クレーン監視 システム / クレーン総合管理システム	調査部会	/ 61
□新機種ニュース	調査部会	/ 64
□文献調査 クレーンの安全性について	文献調査委員会	/ 68
□ISO規格紹介 土工機械に関する ISO 規格 (14)	ISO 部会	/ 70
□整備技術 建設機械メカトロニクスの整備 (第 9 回) ダンプトラックの自動変速装置	整備部会	/ 72
□統 計 建設工事受注額・建設機械受注額の推移	調査部会	/ 76
行事一覧		/ 77
編集後記	(皆川・鈴木昭)	/ 80

◀表紙写真説明▶

川崎ショベルローダ 110Z II DX

川崎重工業株式会社

本機はバケット容量 5.6 m³ のホイールローダで原石の積込や、製品の掘削・積込作業に活躍している川崎ショベルローダシリーズの最大機種である。主な特長は次の通りである。

- ① デラックスキャブ搭載、快適で理想的な運転空間
- ② 独自のダイレクトサーボ方式の「油圧サーボアシスト」により、バケット・ホイストレバーの操作力はわずか 1.9~2.8 kg
- ③ 川崎式 Z 型逆転リンク機構による高い作業性能
- ④ 長いリーチとクリアランスで 32 t ダンプへも余裕の積込
- ⑤ 安全 2 系統デノスクブレーキに加え、エマージェンシーブレーキも装備

◀主な仕様▶

バケット容量	5.6 m ³
リンク機構	川崎式 Z 型逆転リンク
ダンピングリーチ	1,635 mm
ダンピングクリアランス	3,540 mm
全長×全幅×全高	9,790×3,770×4,125 mm
エンジン出力	388 PS _h
運転整備重量	39,350 kg